

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公開番号】特開2008-264515(P2008-264515A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2008-71048(P2008-71048)

【国際特許分類】

A 6 1 C 15/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 15/04 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月22日(2010.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デンタルテープにおいて、

第一の外面、および、前記第一の外面とは反対側の第二の外面を有する芯体を備える単纖維、

を備えており、

前記単纖維が前記デンタルテープとして使用するのに適した厚みおよび幅を有し、

前記第一または第二の外面の少なくとも一方は、前記芯体内へと突き出す複数のくぼみを有し、前記複数のくぼみは、前記第一または第二の外面の前記少なくとも一方の全面積の約5%から約95%に設けられており、

前記くぼみは各々、前記複数のくぼみを備えた前記第一または第二の外面の前記少なくとも一方に関して、前記芯体内への深さを有し、その深さは、前記複数のくぼみを備えた前記第一または第二の外面の前記少なくとも一方に対して横断するようにとった前記芯体の厚みの約0.1%から約95%に相当する、デンタルテープ。

【請求項2】

請求項1に記載のデンタルテープにおいて、

前記複数のくぼみは、前記デンタルテープの実質的に全幅にわたって設けられている、デンタルテープ。

【請求項3】

請求項1に記載のデンタルテープにおいて、

前記複数のくぼみは、前記デンタルテープの不連続な長手方向の範囲を占めている、デンタルテープ。

【請求項4】

請求項1に記載のデンタルテープにおいて、

結合剤を含むコーティング、

をさらに備えている、デンタルテープ。

【請求項5】

請求項4に記載のデンタルテープにおいて、

前記コーティングは、活性機能を有する添加剤を含んでいる、デンタルテープ。

【請求項6】

請求項 1 に記載のデンタルテープにおいて、
前記くぼみは、多角形、直線、非直線、卵形、橢円形、および、円形からなる群から選択された形状である、デンタルテープ。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のデンタルテープにおいて、
前記第一および第二の外面の各々は、前記複数のくぼみを備えている、デンタルテープ。
。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のデンタルテープにおいて、
前記複数のくぼみが占めている前記第一および第二の外面の各々の表面積は、約 5 % から約 9 5 % である、デンタルテープ。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のデンタルテープにおいて、
前記複数のくぼみは、前記デンタルテープの実質的に全幅にわたって設けられている、デンタルテープ。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のデンタルテープにおいて、
前記複数のくぼみは、前記デンタルテープの不連続な長手方向の範囲を占めている、デンタルテープ。

【請求項 11】

請求項 8 に記載のデンタルテープにおいて、
前記くぼみは、多角形、直線、非直線、卵形、橢円形、および、円形からなる群から選択された形状である、デンタルテープ。

【請求項 12】

請求項 8 に記載のデンタルテープにおいて、
結合剤を含むコーティング、
をさらに備えている、デンタルテープ。

【請求項 13】

請求項 12 に記載のデンタルテープにおいて、
前記コーティングは、活性機能を有する添加剤を含む、デンタルテープ。

【請求項 14】

請求項 1 に記載のデンタルテープにおいて、
ポリオレフィン、ポリアミド、ポリエステル、および、フルオロポリマーからなる群から選択されたポリマー、
を備える、デンタルテープ。